

おだわらじょううまだしもん 小田原城馬出門



今から約400年前で
ござる。



● 歴史

げんざいもん、しかくかたますがたうまだしもんふくけん
現在の門は、2009年に四角い形、柵形の馬出門の復元がされたんだ。

もん、さんかくちょうほうけい
門にある三角や長方形は、なんのためにあったのでしょうか。

さまい、しろまもてっぽうや
狭間と言って、お城を守るために鉄砲や矢をここから撃っていました。

うまだしもん、うまだ
馬出門は、馬を出すだけの門であったのでしょうか。

うまだしもん、さんまるにまるむおおてすじじょうもうじゅうようもん
馬出門は、三の丸から二の丸に向かう大手筋上に設けられた重要な門でし

た。おおてすじ
大手筋とは、お城の正面にある大通りのことをいいます。

しろ、でいりぐち
お城の出入口の一つで正面出入口となる門です。

げんざいふくげん うまだしもん え とじだいしよき ますがたけいしき いしがき
現在復元された馬出門は、江戸時代初期（1672年）に枡形形式（石垣と

どへき はこがた しかくけい くわかん ふた もん で き かたち かいしゅう えど
土壁で箱形・四角形の空間と二つの門で出来ている形）に改修され、江戸

じだいまつき（1868年）まで有り続けていました。

ふた もん うちかぶきもん うちかわ もっと かんたん つく もん しょうめんていりぐち
二つの門は、内冠木門（内側にある最も簡単な造りの門）と正面出入口と

なるうまだしもん
なる馬出門があります。

うまだしもん しかく がた はんえんけい しゅるい おだわらじょう うまだしもん
馬出門は、四角い形と半円形の2種類ありました。小田原城の馬出門は、

ほうじょうし す どうじ しかく がた ますがたけいしき つく
北条氏が住んでいた当時より、四角い形の枡形形式の造りでした。

めいじ 34年（1901年）に皇族の御用邸（天皇一家の別荘）になっていた

おだわらじょう ますがた うまだしもん こわ どお もん かいちく
小田原城は、枡形の馬出門は壊され、まっすぐ通れるように門は、改築さ
れていました。

そして、2009年に四角い形、枡形の馬出門の復元がされました。

● げんざい りよう 現在どのように利用されているのだろう

おだわらじょう くに しせき してい
小田原城は、国の史跡に指定されています。

いま おお かんこうきゃく おとす ばしよ
今では多くの観光客が訪れる場所になっています。

みんなも知っているほうじょうごだい だみょうぎょうれつ とき うまだしもん よろい
みんなも知っている北条五代まつりでは、大名行列の時に馬出門から鎧

き ひと まちなか ある
を着た人たちが町中を歩きます。

● かんれん 関連するチェックポイント

・「そうらんじ はこねまち 早雲寺（箱根町）」・・・北条家のお墓があります。

・「むらかみじろうしょうてん はこねまち 村上二郎商店（箱根町）」・・・村上二郎商店は、うめぼ 梅干しを売っており、

うめぼ 梅干しは ほうじょうそうらん 北条早雲とゆかりがあります。